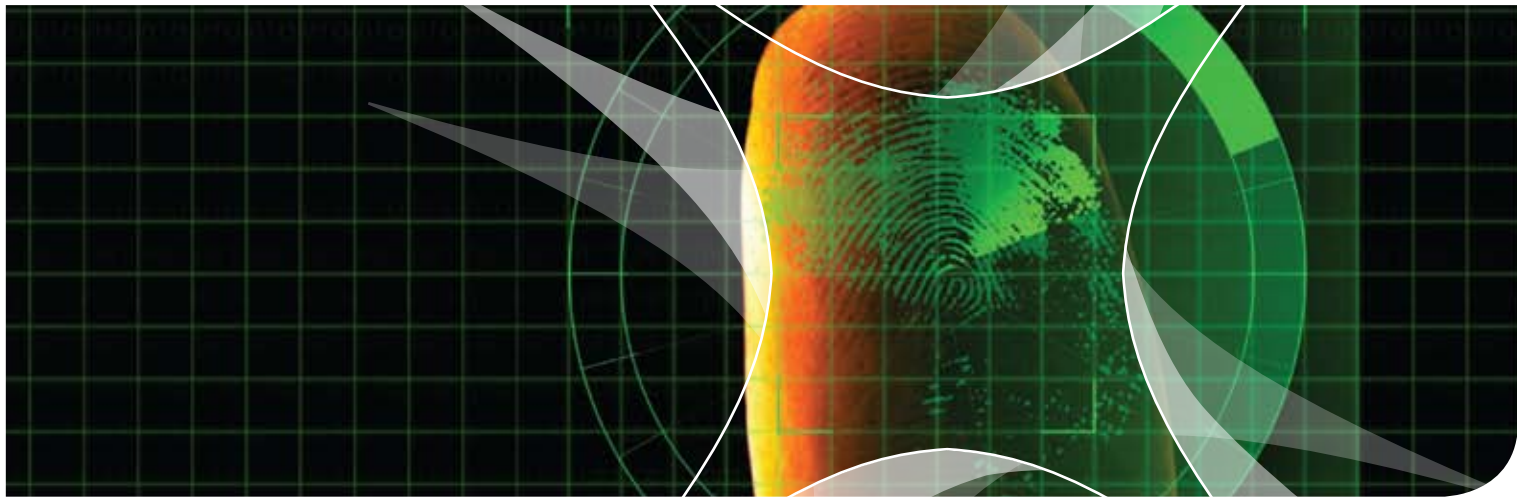


Gemalto .NET Bio

ジェムアルト ドット・ネット バイオ

Microsoft Windows 向け生体認証セキュリティ・ソリューション



ENTERPRISE > SOLUTION

Gemalto .NET Bio は、革新的なソフトウェア・ソリューションで、Gemalto .NET IC カードを使い、生体認証テクノロジーと Windows Vista® をシームレスに統合させます。

このソリューションは、安全な二要素及び三要素認証システムを提供します。このシステムは、簡単に展開・管理ができ、Windows Vista SP1 の IC カードというセキュリティコンポーネントに完全に適合しているため、ユーザにとって利便性が高いものとなっています。また、市場に出ているほとんどの指紋センサーにも対応しています。

Gemalto .NET Bio ソリューションにより、指紋マッチオンカード・ユーザ認証を、IC カードの暗証番号 (PIN) 照合の代わりに運用したり、暗証番号照合に追加してさらに認証をしたりすることが可能です。同様に、Windows のログインや電子署名、ファイルの暗号化、安全な VPN アクセス、その他の PKI アプリケーションに使用することができるカード上の電子証明書へのアクセスも可能です。

マッチオンカードの操作によって暗号化動作全体が著しく遅くなるということはありません。

■ 利便性と強化されたセキュリティ

IC カードは、ユーザが暗号鍵やカード内に格納されている電子証明書へアクセスするために暗証番号 (PIN) によって保護されています。Gemalto .NET Bio ソリューションは、以下を行うために展開できる柔軟なシステムを用いて暗証番号 (PIN) ベースな認証をさらに拡張します。

> IC カード暗証番号 (PIN) の代わりに指紋認証を使用する。これは、ユーザは暗証番号 (PIN) の値を覚えておく必要がなく、「パスワード/暗証番号 (PIN) を忘れた」ということでヘルプデスクを呼ぶ必要もない為、利便性を高め、かつ業務コストを削減します。

または、
> IC カードの暗証番号 (PIN) を補完するものとして、さらに指紋認証を使用する。これは、三要素認証によってもっとも高い安全性をもたらす事になります：持っているもの (Gemalto .NET IC カード)、知っているもの (IC カードの暗証番号 (PIN))、本人の特徴 (ユーザの指紋) の三つの要素での認証が可能です。

■ 4つのユーザー認証モードが利用可能

Gemalto .NET Bio ソリューションは、4つの様々なユーザ認証モードを提供します。それにより、企業や組織は、それぞれの要求事項やセキュリティポリシーに合わせた安全性と利便性の最適化を図ることが可能となります。

> 暗証番号 (PIN) のみ：これは、従来のカード認証モード。

> 指紋のみ：IC カードの暗証番号 (PIN) に取って代わるもの。

> 暗証番号 (PIN) または指紋：ユーザに二種類の異なる認証選択肢を与えることにより、より高い利便性を提供する。

> 暗証番号 (PIN) と指紋：暗証番号 (PIN) に加え、指紋を使用する三要素認証を導入することにより、安全性が著しく高くなる。



Gemalto .NET Bio

ジェムアルト ドット・ネット バイオ

Microsoft Vista 向け生体認証セキュリティ・ソリューション

Windows IC カードフレームワークとの統合

Gemalto .NET Bio ソリューションは、Windows Smart Card Framework (WSF) の最新版をベースに開発されています。ソリューションは、Windows Vista 環境との最高レベルの一貫性/整合性をもたらすとともに、Vista SP1 クライアントの場合でも最小限のサイズのソフトウェアを搭載するだけで利用可能です (7 MB 以下)。Windows Smart Card Framework architecture (WSF) に準拠することにより、Gemalto .NET Bio ソリューションは、Vista SP1 OS をサポートするだけでなく、IC カード対応の Microsoft solution アプリケーションもサポートします。

主要機能と効果

- 安全なログオンやリモートアクセス、暗号化、電子署名サービスのためのパスワードを強固な二要素/三要素認証に置き換えます。
- 多くの機能に対し、指紋マッチオンカード・ユーザ認証という利便性の高い強化されたセキュリティが加わり、そして Gemalto .NET IC カード及びトークンが有効に役立ちます。
- 指紋はマシン上ではなく、IC カードもしくはトークン上で管理・制御されます。これによりユーザは、自身の指紋と ID カード/トークンで社内のあらゆる端末やデバイスにログオンすることが可能となります。
- 市場に出ている様々な指紋センサーの互換性があります (約 90%)
- Windows Vista SP1 とシームレスに統合
- 従業員は長く頻繁に変更しなければならないパスワードや暗証番号 (PIN) を憶える必要がありません。
- パスワードのリセットや IC カードの解除の業務が減る事によって、運用コストが削減されます。
- 10 件までの指紋登録をサポート
- 追加セキュリティのための、Vista のセキュアデスクトップに統合された指紋登録・管理

なぜ生体認証?

> **アイデンティティ**：生体認証により、個人の身体的特徴にもとづいたユーザ認証が可能となります。ユーザか



らみると、ユーザ名やパスワードまたは暗証番号 (PIN) に比べると、より強固な認証である事を感じて頂けるでしょう。

> **セキュリティ**：生体認証ソリューションはその実装方法によってセキュリティレベルは異なります。しかし、生体認証 (本人の特徴による認証) は、IC カード/トークン (所有物による認証) またはパスワード/暗証番号 (PIN) (記憶による認証) などの他の認証要因と組み合わせる時、ソリューションのセキュリティレベルは間違いなく強化されます。

> **利便性**：パスワードに比べ、生体認証は忘れられることはありません。ユーザは生体認証を記録する必要もありません。いつでも利用可能で、常にユーザとともに存在する認証方法です。

なぜ生体認証マッチオンカード?

> **セキュリティ**：IC カードは、その名と作りが示すように、安全性の高い、改ざん防止されたデバイスです。IC カード上での生体認証証明書の格納と照合は、安全性の比較的低いデバイスまたはネットワークよりも格段に安全です。生体認証を組み合わせた IC カードは、安全性の高い三要素認証ソリューションを提供します。

> **利便性**：生体認証マッチオンカードは、以下の利点をもたらします。
ポータビリティ：ユーザは、自身の IC カード/トークンと生体認証を使用して、社内ネットワークにログオンすることができます。

> **秘匿性**：カード上で行う照合：生体認証のデータはカードから外部に流失する事はありません。

> **コンプライアンス**：個人情報保護政策によって、生体認証情報を外部のデータベースに保存出来ない国もあります。

Vista SP1 Secure Desktop 内で対応している動作

- IC カード・ログオン
- コンピュータのロック/ロック解除
- オンカード指紋の登録と管理
- IC カードの解除とオンカード指紋の際登録
- セキュリティポリシーに沿って認証モードの変更が可能

Gemalto .NET Bio ソリューションを通して生体認証の使用をサポートしている Microsoft 及び第三者のアプリケーション：

- Microsoft Office：Word®、Excel®、PowerPoint® (文書の電子署名用)
- Microsoft Outlook® (電子署名及び、電子メール暗号化用)
- Microsoft Internet Explorer®
- 暗号化ファイルシステム (Encrypted File System (EFS))
- Windows IC カードフレームワークをサポートしているその他の Microsoft のアプリケーション
- Windows Smart Card Framework をサポートしている Vista SP1 上での第三者アプリケーション (例：Check Point® VPN、Adobe® Acrobat®)

システム要件:

- Windows Vista SP1、Windows XP、Windows 7
- PC/SC IC カードリーダー
- 指紋センサー対応：
 - UPEK センサー：TCS1、TCS、TCS3、TCS4
 - AuthenTec センサー：AES2501、AES2550、AES2801
- Gemalto .NET v2+ IC カード